

# 校長だより

令和8年3月2日  
大阪市立大正東中学校  
No.12

## 3年生最終章 公立高等学校一般入学者選抜

### そして卒業式



卒業式まで、あと11日となりました。3月10日（火）は、公立高等学校一般入学者選抜学力検査、そして3月13日（金）は中学校生活最後のセレモニー・卒業式です。

高校受験・就職、そして卒業式に向けて、次のメッセージを送ります。

「人生は、片道切符の旅である。行きは、あるが帰りはない」とは、作家司馬遼太郎の言葉です。

みなさんは、15年の人生の旅を終えて、今、新しいステップを踏み出そうとしています。歩いていく道は、それぞれ違いますが、みなさんの前途に広がる人生には多様な選択肢があります。進む道は、一つではありません。

「世の中の人、何とも言わば言え、我がなすことは我のみぞ知る」とは、幕末に新しい日本を創るために命をかけた坂本竜馬 15歳の時の言葉です。

他人とは違って良い、自分に自信を持ってそれぞれの人生を歩んでください。

みなさんは、何となく他の人と同じでないと、同じ行動をしていないと安心できないと思っていないでしょうか。

自分には、人とは違う良いところがあると気づいていないから他人と合わせることばかりに気を使うのです。

「天は二物を与えず」という言葉があるように、みなさんには、誰にも負けない才能があるのです。まだ、気づいていないだけです。それに気づくには、待っていても気づきません。

今、自分に出来そうなこと、頑張れば出来そうなことから積み重ねる努力を日々おこなわないとだめです。

その日々の努力の中で自分の才能に気付くときがきっと来ます。

しかし、「チャンスの神には、後ろ髪がない」のです。気づいて振り返ってチャンスをつかもうとしてもチャンスの神はあなたの前を通り過ぎた後です。後ろ髪がないために追いかけてもつかめません。

これからの人生の中でそのチャンスをつかむことができるように努力を忘れないでください。

受験の朝、卒業式の朝、家族に、友達に、先生に、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えて、テストに、卒業式に臨んでください。

感謝の気持ちがあふれた素晴らしい卒業式にし、有終の美を飾りましょう。

「人にやさしい大正東中学生。人にやさしい大正東中学校。」の仕上げの時です。

## 卒業式の意義

“儀式の意義”を踏まえ、正しい身だしなみ、厳粛で静かな雰囲気のもと、みんなに祝福され、大きく世界に羽ばたいてくれることを期待しています。

また、3年生だけではなく、全校生徒で創る卒業式です。1・2年生は、代表者のみの参加となりますが、自分の与えられた役割を責任持って果たし、また一つ成長して、進級してくれることを期待しています。

これまでの先輩方を超える最高の卒業式となるよう、全員が心をひとつにし、みんなの心に残る素晴らしい第79回卒業式を創りあげましょう。



儀式（セレモニー）とは、「一定の形式、ルールに基づいて行われ、日常生活とは異なる特別な行為」「所属する特定の社会において、集団の結束を確認するためや、集団でのステップアップのために行われ、社会に周知させるためにも行われる」とあります。

卒業式は、中学校という一つの社会の中で、3年間一緒に取り組んできた仲間や先生、保護者や地域の方々と、これまでの取組と結束を改めて振り返り、新たな進路へのステップアップを共に祝う会だといえます。そこには、3年間の頑張りを評価するとともに、今後、責任ある役割を果たす存在へと脱皮していってくれることへの大きな期待も含まれています。

## 新たな一步に向けて!!

3年生は、いよいよ新たな世界への第一歩です。1・2年生も一つ学年が上がり、期待も責任も大きくなります。

その成長の過程で、みなさんは、厳しい試練や、耐え切れない心の傷を味わうことがあるかもしれません。熱意や努力だけでは、どうにもならないことに出くわすこともあるかもしれません。でも、そこで立ち止まっているわけにはいきません。

たった1度の人生、その人生をどう生きるか、それを決めるのはあなた自身です。

人は失敗を繰り返し、何度も何度もチャレンジすることでたくましく成長していきます。たった一度のあきらめが、自分の夢を、自分の人生を壊すことがあります。必ず一度は大きな挫折を味わうものですが、その時、自分を信じ、前向きに取り組んでいけば、いつか輝かしい未来が切り開かれていきます。



学年の修了にあたり、インドの言葉を紹介します。

心が変われば、態度が変わる。

態度が変われば、行動が変わる。

行動が変われば、習慣が変わる。

習慣が変われば、人格が変わる。

人格が変われば、運命が変わる。

運命が変われば、人生が変わる。